

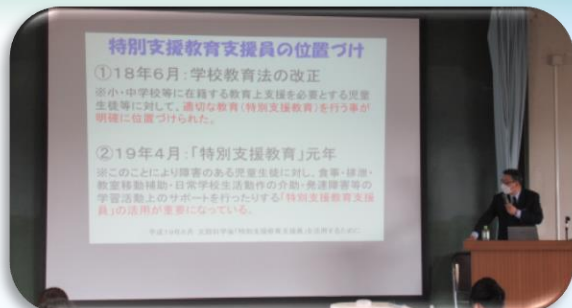
「令和4年度 山城地方特別支援教育非常勤講師等研修会」を開催しました

日時：令和4年5月18日（水）
午後1時40分～同4時30分

場所：京都府総合教育センター 大研修室

参加者：42名

特別支援教育指導員
特別支援教育支援員
小学校低学年指導補助
市町（広域連合）教育委員会 等



グループ協議

『講義を受けて、
日々の実践に活かしたいこと』

後野先生の講義の後、4～5名のグループで協議を行いました。

コロナ禍のため、15分という短い時間設定でしたが、講義を受けて、納得したことや活かしていきたいことを日頃関わっている子どもたちをイメージしながら活発な協議が行われました。

講義 『特別支援教育と
子どもたちへの支援』

講師 国立舞鶴工業高等専門学校
修学支援室
特命教授 後野 文雄 様

特別支援教育について、その法的根拠から、その役割、発達障害のある子どもたちへの適切な関わり方まで、医学的見地からの解釈や、具体的な事例を挙げた解説などを織り交ぜた講義をいただきました。

発達障害が脳機能の障害に深く関連しており、だからこそ特別な支援を要すること、脳の機能を考えた上での適切な接し方について等、実際に子どもたちに接している先生方が明日からでも実践できるスキルや、子どもたちに接する際の気持ちの持ち様まで、論理的に分かりやすくご教授いただきました。

参加者の感想より

- ☆ 普段、子どもたちと接して気になることにも、気付きのポイントがあるとわかり、今後は子どもの姿を見て指導に生かしていきたいと思った。
- ☆ 講義でどうしてもその障害が表れるのか、とても分かりやすく説明いただき、改めて特別支援教育指導員の役割の重要さを考えさせられた。
- ☆ グループ協議は短時間であったが、他の学校の様子や意見を聞くことができ、驚きと発見があった。